

4 おわりに

今回、獣医師全体の就業状況、女性の就業支援などについて実態を把握するため、「獣医師の就業環境等に関する現況調査」を実施した。初めて実施した約10年前とは社会情勢や獣医師の環境が大きく変化したことから回答内容にも変化が見られ、今後、日本獣医師会でさまざまな取組みを進めていくための参考となった。

また、仕事や収入面で不安を抱えている人が前回の調査より増えたり、代替職員の確保をはじめとした女性の就業支援の整備が不十分であるという声が多くあった。さらに離職理由で「精神的に疲れる仕事だったから」というメンタル面の理由が10年前と比べて突出していることから、背景にあるハラスメント対策やメンタル面のサポートやケアがいっそう強く求められる。

これらのことから、地方獣医師会等によるハラスメントに関する講習会やセミナーなどが積極的に開催されることを期待したい。さらに優良事例や先進的な取組みを紹介することにより、さらに推進していくことと考える。

平成29年に設定された目標の一部である「現在女性役員がいない地方獣医師会は1名は女性とすること」に対し、女性役員がいない地方獣医師会は6地方会あり、未だ達成されていないことから、地方会名を公表した。このような取組みにより地方獣医師会すべてにおいて女性役員就任に向けて取組が加速していくことを期待したい。

さらに、女性獣医師の加入率を男性と同じにすることも目標としているが、令和4年度は、男女ともに加入率は平成30年度よりも低下した。今後においては、会員の加入に向けた先進的な取組の紹介や情報発信のあり方の改善、産休・育休取得者に対する休会制度の設置、短時間勤務やワークシェアリングの情報提供など本委員会で検討されてきた事柄をさらに具体化していくことにより、退会者の減少に歯止めをかけていきたい。

このように、日本獣医師会会員の就業状況は男女を問わず、厳しい状況であるが、「女性獣医師が活躍する職場は、男性獣医師を含むすべての獣医師が活躍できる職場である」という理念の下、この女性獣医師活躍推進委員会をさらに発展させていきたい。